

山陽新報

2017年(平成29年)12月15日 金曜日

看護サービスを提供する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」に取り組み岡山市などの9事業者は14日、連携組織を設立したと発表した。啓発活動や人材確保などで協力し、サービスの浸透を図る。

敬友会の呼び掛けで義風会、アール・ケア、岡山市ふれあい公社、光生病院、両備ヘルシーケア、ファミリーズ、操風会、桃山福祉会が参加。「岡山市定期巡回・随時対応型訪問介護看護連絡協議会」を10月に発足させた。

同サービスは2012年に制度化された。ヘルパーや看護師が1日複数回利用者宅を巡回し、食事や排せつ介助に対応。点滴管理など医療的ケアを手掛けるケースもあり、緊急時には昼夜を問わず駆け付ける。

協議会は、高齢者と接する機会が多い民生委員の会合などで同サービスをPR。合同で人材確保につながるイベントも企画する方針。「手厚いサービス体系を知ってもらい、利用拡大につなげた」としている。

(鳥越謙一)

介護看護連絡協

9事業者が設立

24時間対応の

サービスPR

24時間対応で介護と